

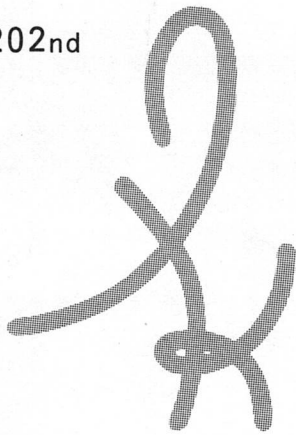
1989

ICHIKYO
市響

室内楽の夕べ

鮫島有美子さんを迎えて

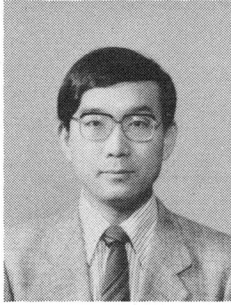
202nd



1989年3月19日(日) PM 7:00

市川市文化会館大ホール

主催・市川市教育委員会 市川交響楽団協会
後援・千葉県音楽振興協議会



ご あ い さ つ

市川交響楽団 幹事長

星 乗 昭

本日はお忙がしい中、私達の演奏会にいらして下さいまして誠に有難
とうございます。

春の演奏会は毎年三月に比較的小編成で「市響室内楽の午後」として
催されておりました。しかし今回は市川市菅野に御実家を持ち、真間小
学校御出身であり、美しく素晴らしいソプラノ歌手として現在日本で最
も注目されている鮫島有美子さんと共演させていただくこととなりました。
鮫島さんは、西ドイツのアウグスブルクに居をかまえられ毎日お忙
がしく世界を駆けめぐられておられます。今まで市響と共演の機会を何
度かお願いしておりましたが、スケジュールの都合がつかずいつも残念
に思っておりました。しかし急きょ鮫島さんの特別な御厚意により念願
がかない今日の音楽会を迎えることが出来ました。団員及び市川の市民
の皆様とともに大いに喜びたいと思います。

次に市響ジュニアのコンマスとして中学生の時から活躍され、その後
市響、芸大、そして桐朋音大では指揮を勉強されている三原明人氏が古
巣の市響を初めて振ります。彼のコンチェルトや歌の合わせやまとめ方
に注目し、又モーツアルトの39番にかけては、トレーナーの高島浩氏と
ともに細かいボーイングの指示にも及びこの曲にかける意気込みは練習
中にもひしひしと感じられるのです。彼は又指揮者コンクールに積極的
に出場し良い成績を納めています。今年の5月からは、ブタペスト、ハ
ンガリー、アムステルダム等のコンクールにも出場しようという若き指
揮者界のホープであります。又昨日は晴れの結婚式を終えると、すぐ6
時からの練習、そして今日の本番と、新婚旅行に行かず頑張っている姿
は本当に頭が下がります。

又次に市響の名誉指揮者である早川正昭氏の長女で芸大を出られた早
川利佐子さんと高雅な調べを奏でるヘンデルのハープ協奏曲を共演致し
ます。利佐子さんはともかく美人であるとともに、その天性の明るさと
素直さは育ちの良さを思わせて、まさに曲とぴったりという感じでの
で、どうか御期待下さい。

そして最後になりましたが、東北大学工学部通信学科を卒業後、当楽
団でチェロの首席奏者として15年間活躍されており、その高い音楽性は
団員一同敬服している福原耕二さんにこの大きな演奏会で弾いていただ
くこととなりました。アマチュアの奏者がコンチェルトをこの大ホール
でオーケストラと弾くということは並大抵なことではありません。アマ
チュアのレベルの高さとか、いろいろな意味合いのこもったチェロ協奏
曲であると思います。我々団員の中からこうして弾く人がいることを誇
りにも感じております。

以上このように注目すべき多くの聞き所や内容が豊富にあって、とて
も意義深いプログラムとなりました。どうか最後までじっくりとお聞き
下さいませようお願い致します。

プ ロ グ ラ ム

演 奏 市 川 交 響 楽 団

指 揮 三 原 明 人

◎ モーツァルト作曲 交響曲 第39番 変ホ長調 K543

◎ ボッケリーニ作曲 チェロ協奏曲 変ロ長調

チェロ独奏 福 原 耕 二

————— 休 憩 —————

◎ ヘンデル作曲 ハープ協奏曲 変ロ長調 作品6の4

ハープ独奏 早 川 利 佐 子

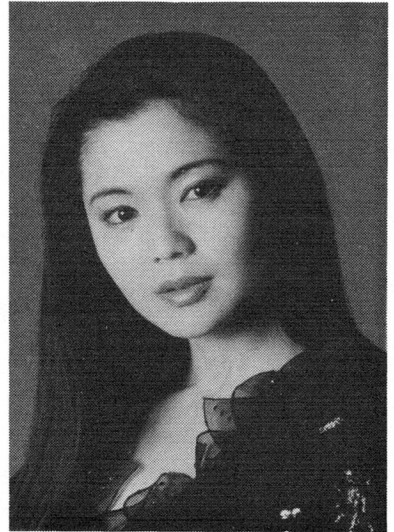
◎ 鮫島有美子と市響

- ① ヘンデル作曲——ラルゴ
- ② モーツァルト作曲——歌劇「フィガロの結婚」より第2幕
アリア「恋とはどんなものかしら」
- ③ イギリス 民謡 } 「グリーン スリーブズ」
海野洋司 詞 }
- ④ 八洲秀章 曲 } 「桜貝の歌」
土屋花情 詞 }
南 安雄 編 }
- ⑤ 越谷達之助 曲 } 「初 恋」
石川啄木 詞 }
南 安雄 編 }
- ⑥ 高木東六 曲 } 「水色のワルツ」
藤浦 洸 詞 }
南 安雄 編 }
- ⑦ ジーツィンスキー作曲 「ウィーンわが夢の街」

出演者紹介

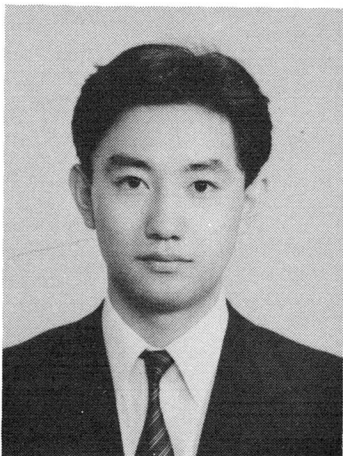
鮫島 有美子<ソプラノ>

戸田敏子、ロドルフォ・リッチ、岡崎実俊の諸氏に師事し東京芸術大学、同大学院及び二期会研究生を終え、1976年にドイツ政府奨学生としてベルリン音楽大学に留学。エリザベート・グリュンマー、フーゴ・ディーツの両氏に学ぶ。その間、ブラームス《レクイエム》、ヘンデル《メサイア》、バッハ《クリスマス・オラトリオ》等、コンサート活動を開始。1979年同大学卒業後、ヨーロッパ各国の音楽祭出演、リサイタル、ラジオ録音等の演奏活動を重ねる。1982年より'86年まで、カラヤンが指揮者活動を開始した西ドイツ、ウルム歌劇場の専属歌手として種々の大役をこなしてきた。その後も欧州各地のオペラハウスへの客演、ピアノのヘルムート・ドイチュとのリサイタル、録音等幅広く活躍中。



日本では1975年<オテロ>のデズデモーナでデビューし、<ローエングリン>エルザ、<フィガロの結婚>スザンナ、<マイスタージンガー>エヴァ、日生劇場20周年記念公演で<ドン・ジョバンニ>ツェルリーナ等の役を演じ、また各地で<第九><メサイア><カンタータ>、1985年1月にはNHKのニューイヤー・オペラ・コンサートなどで活躍。

日本コロムビアより1985年、デビュー・アルバム「日本のうた」以来、ヨーロッパ名曲集「愛のよろこび」、「日本のうた第2集／おぼろ月夜」、イギリス民謡集「庭の千草」、1987年7月、「ローレライ／ヨーロッパ愛唱歌集」と相次いでアルバムをリリース。12月には「永遠の愛—シューベルト・ブラームス名歌曲集」が発売され、話題を呼んでいる。又1988年7月には待望の「からたちの花—日本の歌第3集」が発売され、レコード界でもトップを走っている。



三原 明人<指揮>

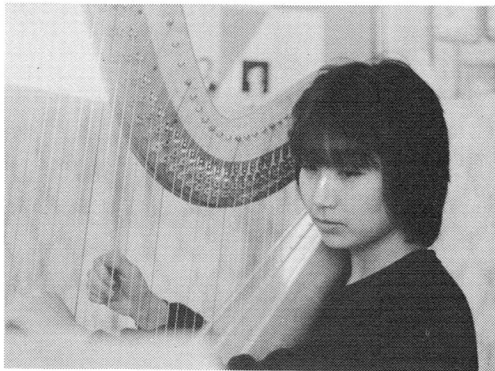
1961年東京生まれ。東京芸術大学卒業。ヴィオラを浅妻文樹、兎束俊之の両氏に学んだ後、桐朋学園大学で指揮法を高階正光、尾高忠明、秋山和慶、小澤征爾の各氏に師事。イタリアのシェナ・キジアーナ音楽院でゲンナジー・ロジェストベンスキー氏に学ぶ。現在、桐朋学園指揮科オーケストラ研究生として在籍。芸大、桐朋及び大学学生オーケストラの指揮、室内合奏、現代作曲家の新作紹介、斎藤記念オーケストラ、ヨーロッパ公演のヴィオラ奏者等、指揮とヴィオラの両面で活躍中。今秋よりウィーンへ留学予定



福原 耕二 (チェロ)

昭和24年静岡県生まれ。高校一年の時からチェロをはじめ、東北大学交響楽団、アンサンブル・センプリーチェ、ミュージックフローなどアマチュアオーケストラで数多く活躍をした。昭和50年からは市響の団員としての活躍が始まる。低弦の中にあって、彼の音は常に朗々と歌われ、チェロパートはもちろん他パートからも絶大の信頼を得ている。忙しい仕事の傍ら、入社前の練習はかかさないと努力の人でもある。佐久間豊春氏に師事し、彼のもつアマチュア離れた音楽性と技に磨きをかけた。

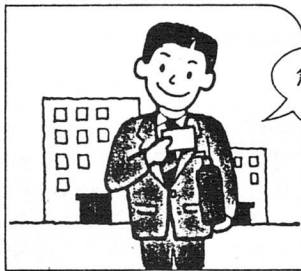
<チェロ 倉沢倫子 記>



早川 利佐子 (ハープ)

5才よりピアノ、中2よりハープを始める。東京芸術大学付属音楽高校を経て1987年東京芸術大学を卒業、在学中芸大オーケストラと協演、NHK洋楽オーディション合格。フレッシュコンサートに出演、1987年ウィーンハープコンgresに出演、1988年福井ハープフェスティバル/オープニングコンサートに出演。井上久美子、桑島すみれ、J・モルナールの各氏に師事。

いちしん カードローン



急な出資にも
安心です。

- お使いみちはご自由です。
- 全国ネットでご利用できます。
- お申込手続きは簡単です。

事業資金以外で、個人が健康で文化的な生活に必要な資金であればご自由に、専用のローンカードで、ご契約限度額まで必要な時、必要な額を何回でもお借り入れいただけます。

さらに、ローンカードは「いちしん」本支店はもちろん、日本全国の提携信用金庫の現金自動支払機でもご利用いただけます。

みちかで気軽な



いちしん

市川東葛信用金庫

本店 〒272 市川市市川1-23-28 TEL 0473 (26) 1111

支店 八幡・行徳・宮久保・中山・国府台・南・大野・南行徳
曾谷・八幡南口・上本郷・矢切・松戸栄町・浦安・海楽・富士見
柏・北柏・流山・江戸川台・法典・野田・関宿・沼南

曲 目 解 説

交響曲 第39番 変ホ長調 K 543

モーツァルト作曲

モーツァルトの創作には不思議なことがたくさんあります。彼の最後の三つの交響曲、第39番、第40番、第41番もそうで、これらの曲をモーツァルトが誰に頼まれて、あるいは、どこで演奏する目的で作曲したのか、そしていつ、どこで初演されたのか、まったくわかっていません。

もう一つの驚異は、これら三つの交響曲が信じられないくらいの短期間に書き上げられた、ということです。楽想は、モーツァルトの脳裏を電光のような素速さで横切り、彼はそれらを適確にとらえ、交響曲という一大叙事詩ともいうべき大形式のうちに、瞬時にして整序します。その素速さ、適確さ、雄大さは200年後の現代においても、人々を圧倒する力を持っているのです。

三大交響曲は、それぞれ異なった内容を持っていますが、そのうちでしばしば《白鳥の歌》とも呼ばれる第39番は、歌に満ち、歌にあふれた交響曲として、あまりにもよく知られている傑作の一つです。

作曲年代：1788年6月26日

楽器編成：フルート 1. クラリネット 2. ファゴット 2. ホルン 2. トランペット 2. ティンパニ、弦楽合奏。

第1楽章：アダージョ～アレグロ、変ホ長調、序奏付きソナタ形式。

第2楽章：アンダンテ・コン・モート、変イ長調、展開部のないソナタ形式。

第3楽章：メヌエット、アレグレット、変ホ長調。

第4楽章：フィナーレ、アレグロ、変ホ長調、ソナタ形式。

<三原明人 記>

チェロ協奏曲 変ロ長調

ボッケリーニ作曲

イタリアにおける初期古典派の重要な作曲家であるL.ボッケリーニ（1743-1805）は、自身秀れたチェリストでもあった。

彼は多くの室内楽、交響曲などを手がけたが、特に一連のチェロソナタや協奏曲では、それまでとかく疎略にされがちだったチェロに、華やかな独奏楽器としての性格を与えた。この楽器の典雅な音色をふんだんに生かす中に、漸新なテクニックを見事に開花させたことにおいて、彼はチェロ音楽のパイオニアともいえる。

この作品は、彼の残した10曲のチェロ協奏曲の中でも評価が高く、ハイドンのチェロ協奏曲と並び称される古典的名曲である。グリツマッハーの手によって改作されたことも明らかにされているが、彼の古典的簡素さ、自由で優雅な主題を味わうことはできよう。チェリストの神様と言われているカザルスもこの曲を演奏し、「何と称賛に値する天才か、何とモーツァルトふうな気分、彼はまるで天使のように弾いたにちがいない」とほめ讃えている。

第一楽章ではチェロの多彩な用法を、第二楽章ではチェロの奏でる魅力的な旋律を、第三楽章ではオーケストラとチェロの活躍が相まって鮮やかで力強い盛り上がりが見えどころである。

<チェロ 倉沢由和 記>

ハープ協奏曲 変ロ長調 作品6の4

ヘンデル作曲

ヘンデル（1685-1759）のオルガンとオーケストラのための協奏曲 変ロ長調 作品6の4は、本来はハープのために作曲されたものであった。おそらく、この版（ハープ協奏曲）は、彼のオラトリオ「アレクサンダーの饗宴」の中の間奏曲として1736年に演奏された。ヘンデルは、現在残っている作品4と作品7の二つのオルガン協奏曲集を、彼のオラトリオのための間奏曲として作曲したが、オルガン以外のものからの編曲が多く含まれている。合奏協奏曲、オーケストラ協奏曲、そしてトリオ・ソナタと並んで、重要な作品に数えられているこの曲は、1738年から1741年にかけて、1712年以来ヘンデルが専ら活動していたイギリスで出版された。

彼はイタリア旅行（1706-1710）中にしたトレルリのヴァイオリン協奏曲の研究から、彼の幾つかの作品において、ハープまたはオルガンに、似たようなソリストティックなパートを割り当てることを思い付いたのである。ハープ協奏曲 作品4の6において、合奏協奏曲のような形をとっていることが、そのような影響の証拠である。

<早川利佐子 記>

「ラルゴ」

ヘンデル作曲

ヘンデルのラルゴとして誰にでも知られている名曲であり、最近特に、ウィスキーのテレビコマ
 シャルでキャスリン・バトルが歌い爆発的人気と呼んだ曲です。この曲はヘンデルが1738年にロ
 ンドンで出したオペラ「クセルクセス」の第一幕から取られました。又この曲はよく歌われる他に
 器楽曲（ヴァイオリン等）としても盛んに演奏されています。

「フィガロの結婚」～恋とはどんなものかしら

モーツァルト作曲

モーツァルト（1756-91）が1786年にウィーンで初演した傑作の第2幕で、ケルビーノによつて
 うたわれるカンツォネッタです。伯爵の怒りをかい軍隊行きを命じられた小姓の恋多き美少年ケル
 ビーノが、かねてから憧れている伯爵夫人に別れの挨拶にきて、侍女スザンナのギターを伴奏に自
 作の歌を披露する場面でうたわれる。ケルビーノの心の動揺もたくみに表現されている愛の歌の傑
 作であります。

グリーン スリーブズ

イギリス民謡

1. A - las! my love, you do me wrong, To cast me off " dis-
 2. I have been read - y at your hand, To grant what-ev - er

cour-teous - ly, And I have love - d you so long, — De-
 you would crave, I have both wa - ged life and land, — Your

light - ing in " your com - p' - ny. } Green - sleeves was
 love — and good — will for to have. }

all my joy, — Green - sleeves was my de-light; Green-sleeves was my

heart of gold, — And who but my la " - dy Green - sleeves?

さくら貝の歌

土屋花情 詩

美わしき さくら貝ひとつ
 去りゆける きみに捧げん
 この貝は 過去の浜辺に
 われひとり ひろいし貝よ

ほのぼのと うす紅染むるは
 わが燃ゆる さみし血潮よ
 はろばると 通う香りは
 きみ恋うる 胸のさざなみ

ああ なれど
 わが思いは はかなく
 うつし世の 渚に果てぬ

予 告

県民の日記念コンサート

指 揮 山 岡 重 信
 メゾ・ソプラノ 野 村 陽 子

入場無料 招待制

往復ハガキで下記へ申込む

〒280 千葉市中央4-13-28 県教育庁文化課あてか

〒272 市川市八幡1-1-1 市川市文化課あて

平成元年6月18日(日) 2時開演
 市川市文化会館大ホール

演奏 市響と千葉県交響楽団
 曲目 ウェーバー「オベロン」序曲
 歌 君よ知るや南の国
 炎はもえて
 ママが知る通り
 ブラームス 交響曲第2番

初恋

石川啄木 詩

砂山の砂にはらばい
初恋のいたみを
遠くおもいはずの日

水色のワルツ

藤浦 洸 詩

君にあううれしさの 胸に深く
水色のハンカチを ひそめる習慣が
いつの間にか 身にしみたのよ
涙のあとを そっと隠したいのよ

月影の細路を 歩きながら
水色のハンカチに 包んだささやきが
いつの間にか 夜露にぬれて
心の窓をとじて 忍び泣くのよ

「ウィーンわが夢の街」

ジーツィンスキー作曲

この曲はウィーンを離れて外国でウィーンを思う時、この歌がよく歌われます。第二次大戦の為や、ヒットラーのユダヤ人追放などによってウィーン人も外国に移住してしまった人が多いのです。はるかかわがウィーンである故郷を想って歌う気持ちがこめられているのでしょうか……。

<星 乗昭 記>

本日のオーケストラ出演団員

第1 ヴァイオリン

遠藤利幸
亀井玲子
※高嶋昭浩
長尾昭行
永田匡雄
◎二宮伸雄
広浜浩司
山中山慎一
松山沢敦子
柳

第2 ヴァイオリン

石井久雄
石本恵理子
上野洋子
小島由美子
酒井基好
鈴木恵子
高津浩子

根守弘和
深沢武夫
福田徳子
森田朋子
吉岡一郎

ヴィオラ
小坂章子
齊藤十一郎
高橋行継
星乗昭一
村上行雄
横田行雄
横関祐見子
渡部玲子

チェロ
倉沢由和
田中宏之
富田由記子
中村公一
樋口進

福原耕二
山口勝規
コントラバス
菊池克彦
三輪泰之
村上信乃

フルート
木村純一
木村真論紀

池田友子
オーボエ
荒井淳
森田直輔

クラリネット
市川正幸
時田雄

ファゴット
※青木直之
小島厚
戸川安道

ホルン
河野和正
越塚康央
志賀恒夫

トランペット
青山裕
トロンボーン
一樹泰一

打楽器
大川勝之
岩橋正治
金子砂織

ピアノ
菅野純子
ハープ
早川利佐子

◎コンサート・マスター
※トレナー

役員

団長 村上正治
副団長 横田行雄
幹事 星田乗昭
インスペクター 時田伸雄
コンサートマスター 二宮公一
渉外 中村

管財(楽譜) 務
庶務 高橋行継
広会報 亀井玲子
会楽計 志賀恒夫
会譜係 石本恵理
計係 長尾浩行
係 木村真論紀

市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来36年の歩み
を続け、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙
をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、
平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う
文化団体で、然も音楽の中で最も強力に共鳴感
を起させるシンフォニックな楽団の育成と、そ
の演奏活動の実践を容易ならしめるための社会
教育団体でありまして、利益を得る団体でも、
ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブ
でもありません。自分達の喜びを少しでも多く
の人に分け与えようとする奉仕団体でありまし
て、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在
であります。又、当協会には、市川交響楽団、
市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュ
ニアオーケストラ、行徳混声合唱団の5楽団に
よって組織されております。市川交響楽団は昭
和55年度のサントリー地域文化賞をサントリー
文化財団より受賞、協会は昭和58年11月に文部
大臣地域文化功労賞も受賞しました。

名誉会長 沼田 武
会長 泰道 三八
理事長 村上 正治
理事 飯島 延浩 岩瀬 良三
川崎 千春 古賀 正一
杉本郁太郎 高橋 国雄
丹沢 章浩 平田 博永
村岡 元一 山野 善郎
横田 行雄
監事 山口 重直
評議員 飯島藤十郎 他23名
顧問 出光 昭介 今井 正
佐々木信次 友納 武人
鳥海 一郎 三木 春逸
山本 孝也 渡辺一太郎 他23名
参与 伊藤 一郎 伊藤 節 他110名
事務局長 井関 裕義

会 員 募 集

当協会の社会教育活動を円滑にして下さる協力会
員に維持会員と賛助会員があります。

維持会員 年 5,000円

賛助会員 年 20,000円以上

当協会主催の行事には入場無料。

賛助会員は協会参与としてご協力をお願い致します。

団 員 募 集

入会金 1,000円 会費 月 2,000円

(市川混声・行徳混声 月 2,500円 学生 1,000円)
(市 響 吹 奏 楽 月 1,500円 学生 1,000円)

各楽団を兼ねる事が出来る。

市川交響楽団 市川小学校音楽室(国道沿い)
練 習 市川駅北口より国道西へ徒歩4分
京成真間駅西口より徒歩8分
毎土曜日午後6時30分

市川交響吹奏楽 社会教育会館(国道沿い)
団 練 習 市川駅北口より国道西へ徒歩2分
京成真間駅南口より徒歩6分
毎火・金曜日午後6時30分

市川混声合唱団 社会教育会館(国道沿い)
練 習 市川駅北口より国道西へ徒歩2分
京成真間駅南口より徒歩6分
毎木曜日午後7時
技量は問題にしません

市響ジュニアオ 市川市文化会館練習室
ーケストラ練習 本八幡駅南口より徒歩8分
行徳街道沿い
毎日曜日午後1時
連絡先 0286(64)2902 永田

行徳混声合唱団 行徳公民館(行徳支庁舎3階)
練 習 東西線行徳駅より西側、
北へ徒歩6分
毎火曜日午後6時50分

事務局 市川市新田2-33-10

TEL 0473(78)1619

市川市 市民憲章

わたくしたちは 江戸川の流れと松の緑に象徴される郷土市川と その自然を愛し
由緒ある史跡と伝承をまもり育て 文教都市にふさわしく 教育と文化を重んじ
人間性豊かな調和のとれた明るいまちをつくるために つぎのことを定めます

1. きれいで 安全な より住みよいまちをつくります

1. 親切で あたたかい 希望にみちたまちをつくります

1. 教育と文化をそだて かおり高いまちをつくります

1. 健康で 楽しく働く たくましいまちをつくります

1. みんなの幸せを願い 豊かな福祉のまちを

つくります

昭和52年11月3日制定